

広報誌で振り返る10年の歩み

第二回（平成22年～26年）

平成22年～26年の主な出来事

平成22年（2010年）

- 7月 越前町生涯学習センター糸生分館リニューアルオープン
- 国道305号越前バイパス（道口～茂原間）開通
- 9月 平成21年度決算で実質公債費比率が16・4％に改善
- 11月 町民意識調査の結果を公表

平成23年（2011年）

- 3月 宮崎・越前コミュニティセンター落成
- 第一次越前町総合振興計画後期基本計画を策定
- 6月 平成30年「福井しあわせ元気国体」のホッケー会場に当町が正式決定
- 7月 越前町人工芝ホッケー場落成式

9月

- 越前町健康増進計画を策定

平成24年（2012年）

- 2月 越前町デジタル防災無線を整備
- 4月 織田病院の運営を指定管理者に委託
- 7月 女子ホッケー日本代表がオリンピック事前合宿に来町
- 11月 織田コミュニティセンター落成

8月

- 町内の小・中学校および高校のホッケーチームが同時全国制覇

平成25年（2013年）

- 3月 内藤町長による町政がスタート
- 12月 越前町から国会議員初選出 助田衆議院議員

平成26年（2014年）

- 3月 朝日コミュニティセンターを開所
- 10月 越前町観光連盟を設立
- 11月 越前町合併10周年記念「越前まるごと元気フェア」を開催
- 平成27年（2015年）
- 2月 越前町合併10周年記念式典を開催



平成21年度決算で実質公債費比率が16・4％に改善

実質公債費



比率とは、標準的に町に入るお金のうち、何％が借金の返済に使われているかの比率です。この比率が高いということは、借金の返済が町財政を圧迫していることを意味します。

越前町は平成18年度決算において、この比率が「24・8％」と北陸地方で一番高くなりました。

このため、平成19年2月に「越前町公債費負担適正化計画」を策定し、平成24年度決算までに実質公債費比率を「18％未満」に引き下げることにしました。この計画に基づき、金利の低い借金への借換えや、職員の削減、経常経費の節減などによる歳出削減に取り組み、財政に余裕ができた場合には、借金を繰上げて返済するなど、借金の借入と返済を管理しながら借金の残高を減らしました。

この結果、計画していた年度を待たずに、平成22年9月に公表した、平成21年度決算で、その比率を「16・4％」と大きく改善することができました。

Interview 越前町から世界へ ホッケー男子日本代表インタビュー



昨年10月7日から町内で開かれた、ホッケー日本代表選考会で本町から近藤辰徳選手（丹生高校）、三谷元騎選手（福井クラブ）、宮崎俊哉選手（早稲田大学）の3人が2016年リオデジャネイロオリンピック出場を目指す、サムライジャパン（ホッケー男子日本代表）に選出されました。今回は世界を相手に戦う、近藤辰徳選手と三谷元騎選手のお二人に、対談形式でいろいろとお話を伺ってきました。

Q1. 今回揃って日本代表に選出されましたが、二人が初めて会ったのはいつですか。また、そのときの印象は？

三谷 顔は知っていましたが、そんなに接点がなく、初めて一緒にプレーしたのは最近だと思います。

近藤 自分が覚えているのは高校1年生のときに三谷さんが教育実習生として丹生高に来た時に部活と一緒にやったのが最初かなと思います。

三谷 教育実習は大変だった記憶しかありません（笑）



平成30年「福井しあわせ元気国体」のホッケー会場に当町が正式決定

平成23年6月、平成30年に福井県で開催される第73回国民体育大会（国体）で、越前町がホッケー競技の開催会場として選定されました。現在、町ではこの国体の成功のために準備委員会を設立し、町内関係団体・機関の皆さん、そして町民の皆さんが一体となり準備を進めています。

会場となる越前町立ホッケー場は、平成18年10月末に11人制コート2面が完成し、毎年全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会などの全国大会が行われています。

また、コートの規格としては、国内でも数少ない国際ホッケー連盟新規格（グローバル規格）に適合し、国際大会などへの対応も可能となっています。



さらに、平成23年5月までに管理棟（会議室、更衣室およびシャワールーム、電光掲示板、室内トレーニングルームを有する）スタンド棟は立ち見席を含め1,000人を収容できる観覧席など、快適かつ安全に観戦できる施設となっており、まさに「ホッケーの聖地」としての環境が整いました。



昨年11月、アクティブハウス越前、露天風呂漁火、越前がにミュージアムを含むエリアが道の駅「越前」として、新たなスタートを切りました。オーブンにあたりアクティブハウス越前内を改装し、賑わいの空間を設けました。

入口前にある大型アプローチにはLEDライトを設置し、夜になると日本海の魚をイメージしたイルミネーションが輝くようになりました。

館内には、地元でとれたばかりの魚を食べられる軽食コーナーや新鮮野菜、水産加工品、越前焼などの越前町の魅力あふれる土産物を取りそろえた越前ブランドコーナーがあり、来館者がゆつくりと過ごせる施設となっています。また、越前町観光連盟の事務所を併設し、今後は越前町観光の拠点となることが期待されます。

近藤 ロンドンオリンピックの最終予選を観に行って、丹生高出身ということで注目していたので、学校に来たときはすぐにわかりました。



三谷 近藤君の最初の印象は体が大きくて、ストロークがすばらしいなと思いました。

近藤 三谷さんはスピードもありましたけど、テクニクがすごくて高校生では誰も止められませんでした。

Q2. お互いのプレーイングパートナーって何人くらい？

三谷 同じFWですが、近藤君は自分と違って、ストライカータイプなのでストロークとかヒットがすばらしいですね。特にヒットはすごく速いと思います。福井クラブとの練習試合でも決められました。

近藤 三谷さんはやっぱりボールを持ったときのスピードとテクニクがすごいです。うちの選手が4人がかりでやっと止められる感じです。あと相手との駆け引きがうまくて、ボールを奪えると思って飛び込むと、すぐに逆を取られて抜かれてしまいます。

三谷 近藤君はパワータイプで僕はテクニクタイプですかね。僕はパワーにはまったく自信がないです。

Q3. 越前町の競技環境について

近藤 とてもすばらしい環境でやらせてもらっていると思います。試合で全国各地に行きましたが、これほど充実した施設があるところはほとんどないです。

三谷 大学で4年間福井を離れていたのですが、帰って来るとに施設が整備されていたので、毎回驚かされました。

近藤 本当に感謝しています。

三谷 ただ、自分たちは「福井クラブ」として

越前海岸観光の新拠点として道の駅「越前」オープン

昨年11月、アクティ

ブハウス越前、露天風呂漁火、越前がにミュージアムを含むエリアが道の駅「越前」として、新たなスタートを切りました。オーブンにあたりアクティブハウス越前内を改装し、賑わいの空間を設けました。

入口前にある大型アプローチにはLEDライトを設置し、夜になると日本海の魚をイメージしたイルミネーションが輝くようになりました。

館内には、地元でとれたばかりの魚を食べられる軽食コーナーや新鮮野菜、水産加工品、越前焼などの越前町の魅力あふれる土産物を取りそろえた越前ブランドコーナーがあり、来館者がゆつくりと過ごせる施設となっています。また、越前町観光連盟の事務所を併設し、今後は越前町観光の拠点となることが期待されます。

て使わせてもらっていますが、高校とかまでホッケーをやっている、今はチームや団体に所属していない人が使いたいと思ってなかなか使えないという話をよく耳にします。土曜や日曜は各年代の大会が入っていたりするので難しいかもしれませんが、月一回でも無料開放日を作って、多くの町民がホッケーに触れ合える機会が作れると、もっと「ホッケーの町 越前町」を盛り上げることができるかなと思います。

Q4. 今後の目標と日本代表への思い

三谷 今まで長期的な目標というのは立てたことがないです。毎回、目の前の試合でベストパフォーマンスができるように、心と体を準備することを心がけています。

近藤 今回始めて代表に選ばれたので、2年後のリオオリンピックも視野に入っているようになりましたが、一番の目標は6年後の東京オリンピックに出場することです。また、4月からは大学に進学し、また新たなステージに挑戦することになります。2年後、6年後を見据えて、さらにレベルアップができるように頑張りたいと思っています。



近藤 辰徳
(丹生高校3年)



三谷 元騎
(越前町役場職員)

小学4年で兄の影響でホッケーを始める。高校2年時からレギュラーとして活躍。3年生になった昨年はキャプテンとしてチームを牽引し、選抜大会、高校総体、国体の3冠制覇に大きく貢献。今回、高校生で唯一サムライジャパンに選出された、高校ホッケー界のトッププレーヤー。
身長：179cm 体重：75kg
ポジション：FW

小学校の時に近所に住んでいた橘敏郎さん（現名古屋フラーテル）と出会い、ホッケーを始める。ユース年代から日本代表として活躍し、大学1年時にサムライジャパンに初選出。ロンドンオリンピック予選にも出場。現在は日本リーグに参戦している福井クラブでエースとして活躍。
身長：180cm 体重：64kg
ポジション：FW